

こんにちは、 玉手山学生赤十字奉仕団です!



活動紹介

私たち玉手山学生赤十字奉仕団は、献血の呼びかけ等の献血推進活動、子どもたちとの交流、防災や性感染症について同世代の方々と考えられる活動など、幅広い活動を行う部活動です。

団員ひとりひとりが「気になる!」「やってみよう!」を大切にしながら、「誰かのために!」はもちろん「自分のために!」したいことを選び、それぞれのペースで活動しています。

活動は、単に経験を積めるだけでなく、各学科での学びを活かせる場でもあります。また、他大学さんと一緒に活動することも多いため、活動の度に視野が広がり、新たな学びへと繋がります!



フォーカス福科大

学園創立80周年記念事業のご案内 #Tamaファン

2022年(令和4年)、学校法人玉手山学園は創立80周年を迎えます。日頃の感謝を込めて、皆さまと一緒に80周年を大いに楽しむべく、「学園創立80周年記念事業」を実施します!

シンボルマーク



作成者: 朝山 優さん
関西福祉科学大学高等学校 3年 美術・漫画研究部

記念事業テーマ **TAMA FAN FUN!** ~みんなでののしもう~

80周年記念事業をみんな(玉手山学園のFAN)でののしむ(FUN)、学園のファン(FAN)でいることをののしむ、学園をののしむ。みんなが笑顔になり、学園全体がつながり、学園が益々好きになる。そんなFAN・FUN! っぱいの想いが詰まったテーマです。

80周年記念事業特設サイト

LINE公式アカウント

最新情報はこちら



玉手山学園
建学の精神

感恩(かんおん)

大学の使命

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」を心得、実践する人を育成し、豊かな未来社会を作る。その達成に向け良質の教育活動と、活発な知的創造・研究活動を行う。

関西福祉科学大学



社会福祉学科

Social Welfare

福祉への興味・関心を深められる オープンキャンパスを目指して



みなさんは学生時代、オープンキャンパスに参加しましたか？社会福祉学科では、アットホームな雰囲気が伝わるように創意工夫し、今年度からは学生スタッフに司会進行を担当してもらっています。参加者の反応を見ながら、臨機応変に対応されている姿を見て、教職員一同、大変頼もしく思っています。

参加者アンケートを見ていて好評なのが社会福祉士と介護福祉士の違いをテーマにした寸劇、社会福祉学科の教員によるミニ講義です。寸劇を通した説明や講義の中に演習を取り入れることで、参加者と一緒に考え、福祉への興味・関心を深められる時間を大切にしています。みなさんも高校生時代を思い出して、「こんなオープンキャンパスだったら参加したい!」というアイデアを教職員に教えてください!

心理科学科

Psychology

心理科学科の受験対策講座

心理科学科では大学院進学希望者や心理職公務員希望者の2~4年生を対象に、受験対策講座を提供しています。今回は大学院受験対策講座を受講している3年生のニシかほるさんに、大学院受験対策講座について紹介していただきました。

私は公認心理師の資格を取得するために大学院進学を目指しており、大学院の試験に向けて英語力を身につけなければならないと思ったので、この講座を受講しようと思いました。この講座では、主に大学院の試験に出題されるような英文や心理学の専門用語の単語を勉強しています。また、研究計画についての相談にも先生が応じてくださいます。

この講座を受講する前は、大学院の試験に向けて何から始めればいいのかわからなかったのですが、先生が英文の読み方のコツやおすすめの勉強法などのアドバイスをくださったり、毎回単語のテストを出してくださったりするので、どのように勉強していけばいいのかというのが少し分かって、この講座を受講してよかったなと感じました。また、この講座を受講している学生は全員真剣に取り組んでいるので、本番さながらの雰囲気勉強できるのもすごくいい経験になるのではないかと考えます。

大学院進学を目指している方や英語力を上げたい方は、先ほども述べたようにたくさんいい経験を積むことができるので、ぜひ一緒に受講しましょう。

ニシさん、ありがとうございます。大学院受験に向けて頑張ってください。

写真は講座の様子(講師は多田美香里先生、座席はソーシャルディスタンスをとっています)、笑顔が素敵な受講者たち(安光優衣さん、ニシかほるさん、川上詩央里さん)。



健康科学科

Health

健康科学科サポーター (KKS) の 活動を紹介します!



KKS作成の「ほけんだより」。行事で配布します。



卒業生インタビューの取材の様子

健康科学科では、2020年度より健康科学科サポーター (Kenko Kagakuka Supporter: KKS) として、有志の学生たちが、行事の補佐、ホームページ用の記事取材、掲示物の作成など、学生生活の充実や、学科の魅力発信のために活動しています。いろんな活動それぞれの感想をKKSから集めましたので、ご紹介します!

「コミュニケーションの難しさも感じますが、それをどう乗り越えようか考える機会になっています」(学科イベント(オープンキャンパス)補佐)

「先輩や先生たちと協力しながら活動できるのは楽しいです!」(学科広報グッズ準備)

「自分の文章を、いろんな視点から考え直す機会になりました」(ホームページ記事執筆)

それぞれの得意なことを生かしたり、苦手を克服したりできているようです。これからの活動にも期待しています!

福祉栄養学科

Nourish

管理栄養士養成校では「全国初」ワイン醸造プラント完成

関西福祉科学大学が位置する大阪府柏原市はブドウの一大産地であり、ブドウの栽培とともにワイン作りについて古い歴史があります。学生教育の更なる充実を図ることを目的として、福祉栄養学科ではワイン醸造プラントを活用した「ワイン醸造学」を学生教育へ新たに取り入れました。

今年度の春学期には安達ゼミと大迫ゼミの3・4年生が「研究演習」で柏原産のデラウェアを用いて白ワインの醸造を行い、成分分析や官能評価などを経験しました。また、8月末から予定している福祉栄養学科内で参加希望者を募った「ぶどう・ワイン作り」のイベントには定員を超える応募があり、福祉栄養学科の学生さんの学修意欲の高さに感心しました。

栄養学や食品学など「食」に関する幅広い知識や技術をもった管理栄養士となるために、「ワイン醸造プラント」でいきいきとした学びを在学中に体験してみませんか。



リハビリテーション学科

Rehabilitation

作業療法学専攻 3年 臨床評価実習を直前に控えた学生の声

リハビリテーション学科 作業療法学専攻 3年生は4週間の臨床実習を控えています。今回は、その学生の一人に協力してもらい、臨床実習を直前に控えた学生の声を紹介します。

「私たち作業療法学専攻の3年生は現在、評価実習に向けて頑張っています。実習に向けた実習前セミナーでは、実技練習、実習記録の取り方や疾患の評価方法についてのグループワークを行いました。

未だCOVID-19の収束に至っておらず、春学期の授業が一部オンデマンド授業だったり、実技練習が十分に行えていなかったりと知識面・技術面に対して不安が大きいです。自宅学習やセミナー中の練習時間でしっかり復習し、自信をつけていきたいと思っています。

不安もたくさんありますが、実習地で色々なことを見て、学び、充実した実習になるよう頑張りたいです。」



Microsoft Teamsを用いた実習前セミナーの取り組みの様子

教育学科

Education

障がいについて知ろう！ ～教育学科『Canvas』の活動について～



『Canvas (キャンバス)』という団体をご存じですか？教育学部の発達支援教育専攻の3年生・斎藤駿佑さんが、福祉教育に関心をもつ学生たちを集め、令和2年11月から学生主体の団体として活動しています。まだ正式なサークルではありませんが、「Canvas」は障がいをもった人びとへの理解を深める活動を目指して、これからも活動していくようです。

令和3年7月には、教育学部発達支援教育専攻の1年生を対象にした「障がい体験会」を計画し、障がいへの理解や関心を深めると同時に、

オンライン授業で人間関係を十分に築くことができなかった1年生同士の交流、3年生と1年生の縦のつながりの形成を目指して、活動していました。

「Canvas」は、これからも活動の幅を広げ、地域を対象とした福祉教育ができることを目指すそうです。新型コロナウイルスの終息が見えない中、暗いニュースも多いですが、学生たちが主体的に活動してくれていること、大変嬉しく思っています。

卒業生・在学生 ズームアップ

綾田玲央夏さん(2020年度卒業)を取材しました。
綾田さんは卒業後、病院にて精神保健福祉士として勤務されています。

私は心理学部心理学科2期生で2021年3月に卒業しました。現在、奈良県の精神科・内科のある病院の医療相談課で精神保健福祉士として勤務しています。国家試験の発表前、卒業式前から研修が始まり、「まだ学生だ」という私の気持ちにはお構いなしに、いきなり社会人対応を要求される日々を過ごしました。はじめは戸惑いが大きく、3ヶ月の研修期間があつという間に終わり、現在でもできないこと、わからないことばかりです。しかし、ふと一番はじめの頃の自分を思い返すと確実にできることも増えています。

現在の主な仕事は、初診の患者さんから最近の様子や生活歴、既往歴などの聞き取りをするインテーク面接を行うことと電話対応です。電話対応の中には大学病院や近隣の開

業医からの入院相談もあります。インテークでは心理学部で学んだ面接技法がとても役に立っています。面談と聞くと患者さんが硬くなってしまうため、面談室へ案内するまでの道中、「車で来たんですか?」「迷わなかったですか?」などの世間話をしてリラックスしてもらうよう努めています。心理士の心理検査場面などでも過度に緊張させないことの工夫は大切だと学びました。大学では知識や技術だけでなくコミュニケーションの面でも多くのことが学べます。

大学には、学部や年齢の違うさまざまな考えを持った人と関わるができる機会が沢山あります。その機会を大切に学生生活を楽しんでいただきたいと思います。



心理科学科卒業生
あやた れおな
綾田 玲央夏 さん

教員インタビュー



福祉栄養学科
あだち しんいち
安達 真一 先生

Q.先生のご専門は何ですか?

食品科学を専門としています。「食品のおいしさ」と「食品の機能性」を主な研究テーマとしています。食品のおいしさに関する研究では、食脂肪のおいしさのメカニズムを生化学的手法や動物行動学的手法を用いて研究しています。食品の機能性に関する研究では、主に痛風の基礎病態である高尿酸血症を抑制する天然物・食品成分の探索および作用解析を行っています。また研究員時代は、いちごの機能性についての研究をしていました。

Q.福祉栄養の分野に 興味を持ったきっかけは何ですか?

私はもともと農学部出身で、学部生のときは、食品学や栄養学、生物学を中心に学んでいました。将来は、研究者になりたいと思い、大学院に進学しました。大学院で食品と栄養に関する研究をするなかで、人が豊かに生きるための栄養と食について関心を持ち、福祉栄養の分野に興味が高まりました。

Q.学生時代何に力を入れていましたか?

学生時代は、サークル活動やアルバイトに力を入れていました。サイクリングサークルに所属し、大学のある京都市を自転車で駆け巡り、様々な名所を回っていました。またアルバイトは、アミューズメント施設や飲食店などでバイトをしていました。大学院に進むと、実験中心の生活になり、大学院での5年間は研究室と家との往復の日々でした。

Q.休日の過ごし方やご趣味を教えてください。

休日は、時間を見つけてウォーキングをしています。ウォーキングをしながら、四季の移ろいや、自然との繋がりを肌で感じています。たくさん歩き、体をよく動かすことでストレスの発散につながっているのではないかと思います。また、普段とは違う道を歩くことで新しいお店やおいしいものを発見したりすることも、楽しみのひとつとなっています。

Q.学生へのメッセージをお願いします!

大学は、これからの人生の土台となる4年間です。充実した学生生活を送ってください。大学での4年間は、長いようであっという間に過ぎていきます。その短い4年間のなかで、大学の授業だけでなく、サークル活動・部活動、ボランティア活動、アルバイト、留学などの授業外のコミュニティにも積極的に参加し、様々なことにチャレンジして、自分の新しい可能性を広げてください。学生時代に培った多くの経験や知識が、今後の人生の大きな糧となるとと思います。

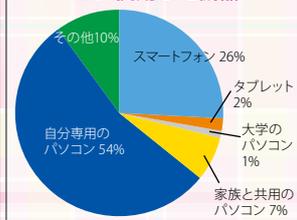
授業アンケート「遠隔授業」結果

(2021年度春学期実施より)

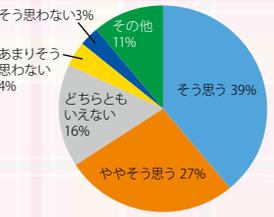
春学期の授業アンケートより、「遠隔授業」に関する回答結果(回答率57.5%)の一部をご紹介します。

遠隔授業は8割強の科目で実施があり、主に使用した機器としては「自分専用のパソコン」が半数を超えています。

遠隔授業に取り組む際に 主に使用した機器



この科目の遠隔授業に 満足している



また、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた回答では、7割強の方がmanaba、Teams等による授業方法が内容の理解に役立った、6割強の方が遠隔授業に満足しているという結果でした。

秋学期の授業アンケート実施期間は11/12~1/22です。回答へのご協力をよろしくお願いします。

WEBで本の貸出延長が できるようになりました!!

OPACページにマイライブラリ機能がつけました。マイライブラリにログインすると、図書館に来なくても

- ・今、借りている本がわかる。返却予定日がわかる。
- ・今、借りている本の貸出期間を延長できる ※貸出延長は予約が入っていない場合に限り1回までです。
- ・本の予約ができる。予約した本が貸出可能を確認できる。

と、とっても便利♪ マイライブラリへはOPACページの「ログイン」から玉手山学園共通システムID・パスワードにてログインしてください。

